

# 丸森町の地域学校協働活動

## 1 今年度の事業への取組について

平成24年度から協働教育プラットフォーム事業委託を受け、教育基本方針に位置づけるとともに、これまで進めてきた学社連携・融合における事業等を協働の視点から再検討し、既存の組織や団体等と役割分担を図りながら事業を推進している。

子供たちの学習環境を整えるため、また地域住民が生涯にわたって学習を続けていくため、家庭・地域・学校が協働し教育環境を整え、「いつでも、どこでも、誰でも」学び続ける協働の社会を目指して事業の充実を図った。

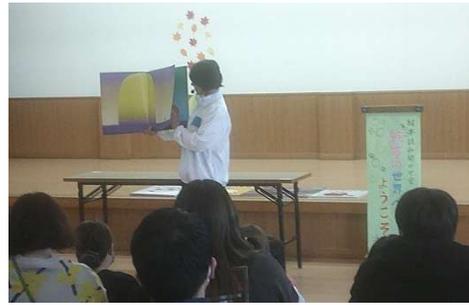
## 2 地域学校協働本部について

平成元年から丸森町生涯学習推進協議会を設置しており、当町における生涯学習に関する必要な事項について協議し、町民の自主的・主体的な生涯学習活動の推進を図っていることから、本協議会が地域学校協働に関する評価及び検証を行う組織として位置付けている。

## 3 事業紹介

### (1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
家庭教育セミナー	丸森町子ども会育成会、丸森町PTA連合会と共催。心豊かな健全育成を目指し、家庭教育の意義や重要性を認識し、家庭・学校・地域が連携して役割を果たすための共通理解を図ることを目的とした講演会を開催する。 (※令和7年度は実施なし)	
家庭教育支援講演会等事業	家庭教育活動を推進するため、町内小中学校単位PTAで開催する家庭教育講演会を支援・推進し、保護者の学習活動の充実を図ることにより、家庭教育の向上を図る。 (※令和7年度は実施なし)	
読み聞かせ活動の推進	子供が幼児期から本と親しみ、読書の楽しさを感じられるよう、保護者に対して子供への読み聞かせの重要性や、読み聞かせの方法などを学び、家庭における読み聞かせの定着を図る。 (※令和7年度は実施なし)	社会福祉協議会・町内保育施設と連携
子育て支援ボランティアの支援	社会福祉協議会と連携・協力し、子育て支援団体やボランティアに対する情報提供を行った。	



【 読み聞かせ講座 (保護者対象) 】 / 【 読み聞かせ講座 (園児・保護者対象) 】

## (2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダーの養成	<p>子ども会の年少指導者であるジュニア・リーダーを養成し、ボランティアや地域活動を推進するための指導及び支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級研修会の開催</li> <li>・中級研修会、上級研修会への参加</li> <li>・山の子キャンプ活動の指導、支援</li> <li>・定例会活動の指導、支援</li> <li>・ボランティア活動の推進</li> <li>・子ども会や地域行事への派遣 など</li> </ul>	子ども会育成会と連携
土曜学び塾の開催	<p>学ぶ意欲づくりと家庭学習の習慣化を目指すとともに、地域の人との関わりなどをおして豊かな人間性の育成を図った。</p> <p>対象者：小学校児童 実施期間：6月から3月まで（毎週土曜日）</p>	
丸森町営学習塾の運営	<p>生徒自らが目標に向かい、主体的に学習へ取り組むことができる「自立学習」の習慣化を図り、学習意欲と学力の向上を目指すため、公営の学習塾を運営した。</p> <p>対象者：中学生 実施期間：通年</p>	



【ジュニア・リーダー】



【土曜学び塾】



【丸森町営学習塾】



### (3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
ふるさと学習支援	地域の学習支援者と連携して、小学校のふるさと学習を支援した。 ・伝統芸能（青葉田植え踊り） ・生産体験（稲作、へそ大根、干し柿、養蚕） ・文化継承（齋理幻夜、佐野地織、新相馬節）	
志教育支援	自分の夢の実現に向け、志を持つことの大切さを学ばせる機会にする。書家二階堂勇悦先生を招き講話後に書道パフォーマンス、児童の大書会を実施した。	
防災教育支援	「3.11を忘れない」決して風化させてはならない取組として、やまもと語りべの会から講師を招き小学校2校で防災教育を実施した。	
野外活動支援	小学校2校の野外活動（登山）において、安全かつ円滑に実施できるよう支援した。 ・活動前現地確認（教員との下見）支援 ・野外活動（当日）の支援	
のびやか教室	放課後の居場所づくりと家庭学習支援のために小学校2校で実施した。前半は、個別に学習に取り組み、後半はニュースポーツや昔の遊び、理科実験ショーなどの体験活動を実施した。	
出前講座による学校教育支援	学校の学習活動に合わせ、地域人材や各種団体、役場職員等を講師として派遣した。 ・創作活動（まゆ細工）	



【ふるさと学習（棚田の田植え）】



【（養蚕学習）】



【（ころ柿づくり）】



【野外活動（登山）】



【志教育支援（書道パフォーマンス）】



【防災教育（3.11を忘れない）】



【のびやか教室（学習タイム） / （ニューススポーツ体験） / （理科実験ショー）】

## 4 成果と課題

### ○家庭教育支援

家庭は、子供たちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育はすべての教育の出発点であることから、子育てや家庭教育を支える地域環境の変化に合わせた対応が求められているが、少子化により対象者が減少していることや、特定のボランティアに頼った活動が多いため、支援体制の充実と新たな人材の発掘が課題となっている。

### ○地域活動支援

地域人材を積極的に活用した『出前講座』が地域活動の場に定着しており、受講者だけでなく講師として派遣された地域の方々も地域の住民の学習等に関われることに生きがいを感じていることから、相互作用による学習意欲の向上が図られている。今後も、活動に携わる地域住民や講師と意見を共有しながら、より良い事業のあり方を模索し進めていきたい。

ジュニア・リーダーを志す子供たちの減少傾向が続き、派遣事業やこれまで培ってきた技術の伝承が課題となっている。様々な体験活動を通し、人とのつながりを育む活動の場に子供たちが興味や関心を持てるように、学校・家庭・地域との連携を今まで以上に強め、活動の場を多く提供していきたい。

### ○学校教育支援

昨年に引き続き、2つの小学校のふるさと学習支援、志教育や防災教育の支援、「のびやか教室」の開催に取り組んだほか、今年度は野外活動の支援を行った。ふるさと学習は、実施する地域との連携構築が進んでいることから最小限の支援になった。志教育や防災教育については、書道パフォーマンスや防災講話の開催を支援している。野外活動支援については、生涯学習課に所属する生涯学習指導員の専門スキルを生かした支援を行い、より充実した学習内容を提供した。

学校が地域に赴いて学習活動を行うことは、地域の活力にもつながるものとする。学校が地域とつながるお手伝いをするとともに、子供たちに多様な学習の場を提供できるよう支援していきたい。

## 丸森町 丸森町立館矢間小学校（総合的な学習の時間）「干し柿を販売しよう」

- 市町名 丸森町
- 学校名 丸森町立館矢間小学校
- 期 日 令和7年11月21日（金）
- 内 容 総合的な学習の時間（5年）  
「Dream Baton Project  
～仙台駅で干し柿を販売しよう～」

一つの通学区に再編された三つの地区のそれぞれの良さや人々の願いに思いを馳せながら、地域との関わりを通して、子供たちの地域に対する愛着や誇りを育む。

- ・丸森町で生きがいをもって働く人（先輩）がいることを知り、様々な立場の人々が連携・協力して丸森の伝統産業の発展に努めていることを理解している。
- ・販売に向けた干し柿づくりを行うにあたり、実現までの見通しを持っている。
- ・干し柿販売を目指して、自ら積極的に皮むき作業を行い、友達と協働して活動しようとしている。

### ○活動支援者

- ・柿農家  
佐藤 静男 氏  
（柿提供・柿畑除草・消毒散布体験・講師・柿収穫協力）  
鈴木 舞香 氏  
（柿畑除草・消毒散布・体験講師・柿収穫協力）  
八島 健 氏  
（干し柿づくり講師）  
齋藤 達也 氏  
（干し柿づくり講師）  
草刈 直也 氏  
（干し柿づくり・袋詰め講師）
- ・いなか道の駅やしまや  
八島 哲郎 氏  
（販売の心得・方法に関する講師）
- ・JR 東日本グループ JR 東日本東北総合サービス 株  
（販売場所提供）
- ・保護者ボランティア  
（袋詰め・販売見守り）

- ・宮城教育大学 准教授 三谷 高史 氏
- ・宮城教育大学3年生 6名  
（柿畑除草・消毒散布体験支援・干し柿づくり・販売見守り）
- ・丸森町商工観光課  
（法被・パンフレット・のぼり一式）



### ○児童の声

- ・今回は、熊対策のため、柿畑に収穫に行けなかったけれど、静男さんや鈴木さん、草刈先生たちが代わりに千個以上取ってくれました。一つ一つの柿が大きくてびっくりしました。ていねいに干し柿を作りたいと思います。
- ・柿の皮のむき方を八島健さんに教えていただきました。最初は難しくてうまくむけなかったけれど、だんだん速くむけるようになりました。千個以上みんなでむくことができうれしかったです。
- ・いろんな先生がぼくたちの手伝いをしてくれて、「速いね」「自分たちでどんどん動いてすごだね」とほめてもらえてうれしかったです。次は、柿を売るのをがんばります。
- ・干し柿づくりでがんばったことは、柿のへたにひもを通す作業です。ひもを通すとき、柿にへたがないものもあったけれど、へたの代

わりになる金具を付けることが分かり、これまでの知恵や工夫で干し柿づくりが行われていることが分かりました。

- ・ 燻蒸した柿を干す作業をがんばりました。柿を干場に持っていくのが重たくて大変でしたが、落とさずにできて良かったです。みんなで協力して干し柿を作れて楽しかったです。



#### ○活動支援者から

- ・ 私が小さい頃、当たり前だった子供の声が聞こえなくなった耕野地区。幸いに私はこの体験学習を通し子供たちの元気に新鮮さと懐かしさを感じています。食料生産が難しくなっているこの時代、体験学習等で少しでも農業というものに興味を持ってもらえたら幸いです。

(佐藤 静男)

- ・ 先日の干し柿づくりでは、ここ数年一緒に柿むきをしておりますが、子供たちの皮むきのやる気を改めて感じました。柿の皮を残さないようにと注意しましたが、干し上がりを見ればわかると思います。耕野小から館矢間小

になっても伝統の干し柿づくりをこれからも続けられたらと思います。できるうちはお手伝いしたいと思います。

(八島 健)

- ・ 9月の柿畑での体験活動では、消毒機や草刈り機に強い興味を示し、試乗体験をととても楽しんでいました。実際に乗った子供に話を聞くと、「楽しかった」「もう一回乗りたい」と言った声が多く聞かれ、乗る前と乗った後では表情が大きく変わっていました。大きな機械を使って柿を栽培する様子に関心を寄せている姿が印象的でした。

(宮城教育大学 学生)

- ・ 柿の皮をむいたり、柿を紐につけて吊るしたりする作業を手伝いました。柿むきの場面では、どのようにむけばきれいにできるかを班の友達と相談しながら取り組む姿が印象的でした。つるす作業は、初めは難しそうでしたが、声を掛け合って協力して、多くの柿を吊るすことができ、子供たちは達成感を味わっていました。

(宮城教育大学 学生)

#### ○教職員の声

本校の学校教育目標は、「ふるさとを愛し 夢と希望を持って自ら学ぶ 心豊かでしなやかな児童の育成」です。子供たちが地域の方の思いを聞いたり、一緒に活動したりすることで、「ふるさと丸森」の良さに気付き、自分が今できることを主体的に考えることができています。加えて、多くの方のご尽力の上に、自分たちが販売できる喜びと感謝が湧き上がっている子供たちの姿が見られます。その思いが地域の魅力を発信する原動力となっています。

今年、再編前の旧耕野小学校の思いを受け継ぎ、4年ぶりに令和8年1月23日(金)に仙台駅東西自由通路で干し柿の販売をします。

活動を支援してくださる全ての皆様のおかげで子供たちが「実感」をとおして、学びを深める機会をいただいていることに心より感謝申し上げます。

(千葉 織江)



# 丸森町立丸森小学校



〒981-2156 伊具郡丸森町字菱川内39番地1  
TEL 0224-72-2140 FAX 0224-72-2164

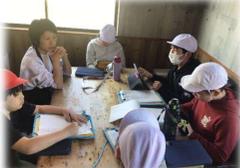
児童数 241名

ふるさと学習として、丸森・筆甫・大内・小斎・金山地区の伝統や文化などについて、地域の方々と触れ合いながら学んでいます



へそ大根作り

4年生が筆甫地区においてへそ大根作りを体験しました。



町の魅力発見!

6年生が町内を巡り、町のよさを見付け、発信しました。



佐野地織

3年生が大内の佐野地織会館で地織体験をしました。



稲作体験

地域の方から指導を受け、5年生が稲作を体験しました。



# 丸森町立館矢間小学校

〒981-2102  
宮城県伊具郡丸森町館矢間館山字玉川29-1  
TEL 0224-72-2148 FAX 0224-72-2169  
URL <https://www.town.marumori.miyagi.jp/school/tate-sho/>

児童数 174人



## ふるさと教育・防災教育

養蚕の学習(大張地区)



主力産業だった養蚕について学び、蚕の世話もしました。

栽培活動(館矢間地区)



縦割り班ごとにサツマイモを育て収穫しました。

干し柿づくり(耕野地区)



収穫後には干し柿作りに挑戦し袋詰めまで行いました。

丸森未来防災フェスタ



防災について学んだことを地域の方々に発表しました。



# 丸森町立丸森中学校

〒981-2167 宮城県伊具郡丸森町田町南24番地2  
TEL 0224-72-2145 FAX 0224-72-1516  
生徒数 230名



みやぎの志教育  
(県指定R6~R8)



ふるさと丸森の地域や人々と関わることで、地域課題を見出し、実践体験型PBLにより自分事としてとらえ解決を目指します。

台湾交流



台湾の中学校とALTの連携で、国際理解と英語力の向上を目指す交流を行います。

模擬議会



中学生の視点で、これからのまちづくりについての意見を町に提言し、未来の丸森について考えていきます。